

一般質問通告書

令和 7 年第 3 回定例会において、下記の事項について一般質問を行いたいの
で、会議規則第 62 条第 2 項により、通告します。

令和 7 年 8 月 15 日

議員氏名

伊藤 久恵



会派名

幸福実現党

海津市議会議長 様

受領番号 第 3 号

受領日時 令和 7 年 8 月 15 日 15:20

要 旨

1、小水力発電の設置の可能性について



質問相手 市 長

質 問 内 容

1、小水力発電の設置の可能性について

近年、再生可能エネルギーの重要性がますます高まっており、地域社会においてその導入と活用を促進する取り組みが世界的に広がっています。その中でも、自然環境への影響が少なく、安定した発電が可能である「小水力発電」が注目を集めています。特に、水道管を利用した小水力発電は、既存のインフラを活用しながら効率的に収益を確保できる方法として採用事例も増えていると聞いております。

水道管を利用した小水力発電は、水道水が流れる際に生じる圧力や流れを利用して発電する仕組みです。この技術の特徴としては、以下の点が挙げられます。

- ① 一定の水流を活用するため、安定的な電力供給が可能。
- ② 太陽光発電のように天候に左右されず、昼夜を問わず稼働可能。
- ③ 規模が小さいため初期投資が比較的低額で済み、設置スペースも効率的に利用できる。

- ④ 発電した電力を売電することにより収益を確保することができるだけでなく、この収益を市の財政安定化や他の公共サービスへの還元を活用できる可能性がある。

以上のようなメリットが考えられます。そこで質問させていただきます。

- 1、本市においても、水道管を活用した小水力発電の設置を検討することは可能でしょうか。また、市内の水道インフラの現状を調査し、技術導入の適性を検証していくことはできないでしょうか。
- 2、令和3年3月の海津市「水道ビジョン」による小水力発電の可能性は、費用対効果の面から、導入は厳しいとありますが、その理由を教えてください。
- 3、水道管だけでなく、山間部や農村地域などの用水路などの自然環境を生かし、比較的安定した発電が可能な「小水力発電」を広く整備促進し、発電電力を災害時や地産地消エネルギーとして活用することができたら、地域経済の安定化及び活性化に繋がると考えます。本市での可能性のある地域はありますか。

以上、ご答弁よろしくおねがいします。